

マスターの無茶振りで
不気味な触手、クエストを単独で
突入させられたマシユは海魔に
捕まってしまった。

Mm

やはり私一人では
失敗してしまいました
先輩……。



にゅるにゅる

にゅるにゅる

にゅるにゅる

にゅるにゅる

海魔はボディスーツの下の
部分を破ってマシユの股間を
露にする。

ふえ！！？
ちよ……
何するんですか……



海魔はマシユの股間に生殖器を
当てて粘液を擦りつける。
生殖器から飛び出ている細い
触手がニヨロニヨロとお尻やヒダを
愛撫してマシユを気持ちよくさせ
ていく。

あ……や

あ……♡

あ……や……
そこは全ての傷……
全ての怨恨を癒す……
我らが故郷……

うん
うん

あ……♡



海魔の生殖器に付いている小さな触手がマシユの膣内でピチピチと暴れた。マシユは不快と感じながらもお尻を無意識に揺らし始める。

あー♡

グググ

んん

んん

んんんん

んんんん

あー♡

そこ……ダメです……♡
気持ちいいです……♡



触手が大きく波打ち、マシユの子宮と
腔内へ大量の精液と卵が噴射される。
マシユは異物を注入される刺激で
絶頂に達してしまった。

あーん♡♡♡
♡♡♡お母さん♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



海魔はマシユの中に種を出し尽くすと
お尻に巻き付いた太い触手がだらんと
下がる。
精液塗れの股間が生殖器を啜えながら
痙攣していた。

はあ……はあ……♡
これが……海魔の種子……♡

ぬ
ちゅ
あ
あ……♡



股間から生殖器が抜けるとマシユの
腔奥に排出された種子が溢れ出した。
絶頂の余韻に浸っているマシユは腔を
ウニウニと股間を波打たせると少しずつ
種子が垂れ落ちていった。
一匹の海魔は満足した様子だが、周り
には何匹もの海魔が控えており、この後
マシユは1日中犯され続けるのだった。

すみません……先輩……
今日は帰れそうにも無い
です……♡

♡♡♡

おはよう

♡♡♡

